

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-I-5

4-I
-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	案内標識の設置
	節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	5 案内標識等のルール確認、整備、充実(国・県道)		事業主体	佐渡地域振興局地域整備部
	事業実施期間	H28～H34		関連団体
事業概要	【事業目的】			
	○ 来訪者の円滑な移動に向けて、案内表示の整備の充実を図る。			
事業実績	【事業内容】			
	○ 構成資産へ来訪者を適切に誘導するため、関係機関が連携しながら、国・県道の案内表示に関する整備方針の検討、基準の確認、占用協議等を行ったうえで、道路案内標識等の整備充実を図る。			
今後の取組・課題	【事業成果】			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 両津港、小木港と『史跡佐渡金銀山遺跡』を結ぶ主要道路沿線に設置されている「道路案内標識」及び「観光案内標識」について現状把握のための調査を行った。 ● 案内表示の整備充実を図るため、世界遺産関連箇所はもちろんのこと、それ以外の誘導すべき島内観光地の抽出作業を行っている。 ● 観光地へ誘導する際の案内表示(表現)の統一化の検討を行っている。(例:「佐渡金銀山」か「相川金銀山」かを案内表示するうえで統一する) 			
事業評価	【課題】			
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 誘導すべき島内観光地を抽出した後、「道路案内標識」や「観光案内標識」が不足していないか検討し、必要に応じて新規に整備する必要がある。 ■ 既設の道路案内標識、観光案内標識について案内表示の統一化を図り、わかりやすさをより充実していく必要がある。 			
事業評価	【今後の取組】			
	■ 相川地区に建設予定のガイダンス施設への誘導とガイダンス施設から構成遺産等への誘導を検討する。			
事業評価	【事業の達成度】			
	[a (b) ・ c]			
	◇ 複数年かかる検討及び整備となるが関係者が集まって議論しながら着実に進捗させている。			
事業評価	【事業実施の効果】			
	[a (b) ・ c]			
	【総合評価】			
[A (B) ・ C]				

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。